

光星4強ならず



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東奥日報社

(C)東奥日報社 2014

インターネット
号外

購読のお問い合わせは
東奥日報社読者局



0120-146-5939

ヨム

コウドクサンキュー

24時間受付

敦賀気比(福井)に2-1-7

▽準々決勝

八学光星	000
敦賀気比	300
	130
	000
	200
	000
	×
	7
	2

(光)呉屋、八木、中川—馬場
(敦)平沼—岡田
▽本塁打||峯(敦)



【敦賀気比—八戸学院光星】7回表八戸学院光星2死二、三塁、馬場が左前に2点打を放つ。捕手岡田=甲子園

第96回全国高校野球選手権大会は22日、甲子園球場で準々決勝を行い、本県代表の八学光星は敦賀気比(福井県代表)に2-1-7で敗れ、準優勝した。2012年以来のベスト4進出はならなかった。

八学光星の先発・呉屋は初回、2四球で自らピンチを招くと、峯に本塁打を打たれ3失点。二回途中から八木、五回途中から中川がそれぞれリリーフしたが、敦賀気比打線につかまり、四回に1点、五回に3点奪われ突き放された。

八学光星打線は7点を追う七回、深江の四球、高久の右前打で2死二、三塁の好機をつかみ、馬場の左前打で2点を挙げた。

しかし、反撃もここまで。敦賀気比主戦・平沼の伸びのある速球と切れのあるスライダ1の前に六回まで1安打に抑えられ、中盤までに大差をつけられたのが痛かった。